

W. Coに合う法人格がない!

ワーカーズ・コレクティブで働く人のための
法制化シンポジウム 4/28



講師の岡安喜三郎さん

W. Coという働き方自体、私自身もわからないままに働き出し、その認知度が低いことは感じていました。今回このシンポジウムに参加して、その働き方の法制度における現在の課題は大きく分けて2つあると思います。

1つはW. Coの考え方にあった法人格がないこと、もう1つは働く人の保障の問題です。どのような法人格が必要なのか、目指すべき方向性は働く人が出資するという協同組合の根幹をなす考え方を認める、出資型非営利法人であり、雇用関係がなくても労働保険が適用されること、相互扶助の精神で地域社会に貢献する事業を行うことでの公益性から税制優遇があること、届け出により成立する情報の公開、を目指していきたいと話されてきました。

法制化の実現によって、働きやすい環境になるだけでなく、その組織の認知度や評価をあげていくことによって、地域の中で事業を増やし、W. Coという働き方が一般的になることを願います。 佐々木香里 (企)ワーカーズ・結

"W. Coの日"木刈デポ初体験!!

～ デポまつり 5/25 ～

早朝から日常のお弁当・惣菜に加え、デポ販売分を皆で作り、配達車に積み「木刈デポ」をめざし出発。到着したときは、さすが「デポまつり」。すでに来所の組合員とワークの皆さんで賑わっていて、大きな陳列台に並べると、待っていた皆さんが次々と手にし、さい先のよい売れ行き!

中でも紙ふうせん一押し人気の「手羽先ロースト」(手羽先の骨を抜き、豚挽肉と春雨を詰め、オープンで焼いた)はあっという間に売り切れしました。

デポまつりには、紙ふうせんの他に、三里塚農法の会が生産し提供されたみずみずしい野菜市、栃木県開拓農協提供の「ほうきね牛・開拓牛」の安心牛肉で焼肉試食会…組合員はおいしい焼肉を試食しながらフライパンの上手な熱し方まで教えてもらっていました。



また、アスケーせっけん生産者交流会も行われ、若いお母さん方が真剣に合成洗剤との違いなど質問されていました。

木刈デポは一昨年からおせちを販売しているデポで、「今年の年末も楽しみにしている」など組合員から感想を聞くことができ、忙しい一日でしたが、楽しい元気がでた一日でした。

木刈デポワーカーの方々には大変お世話になりました。 林 満 (企)W. Co 紙ふうせん

W. Coのとおきレシピ recipe

南仏風ラタトゥイユ (夏野菜の煮込み)

自然の食卓編

これからの暑い季節、栄養たっぷりの夏野菜とハーブが食欲を増進させます。冷たいワインやビールにも相性抜群の前菜です。

材料

トマト(よく熟したもの)2個、ピーマン2個、茄子1個、ズッキーニ1本、玉ねぎ中1個、カイエンヌペッパー少々、クミンパウダー少々、パプリカ小さじ1、エルブ・ド・プロバンス小さじ1、ローリエ1~2枚、オリーブ油、塩、こしょう、にんにく1片



作り方

1. トマトは皮を剥き、種を除いて小さな賽の目に切る。ピーマンはへたと種を除き細切りにする。ズッキーニと茄子は皮ごと輪切りにする。
2. 玉ねぎは皮を剥いて薄切りに、にんにくは粗みじん切りにする。
3. 鍋にオリーブ油を入れ熱し、2の玉ねぎとにんにくを入れ、中火で炒める。
4. 3にピーマン、茄子、ズッキーニ、トマトを加える。
5. 4にスパイス類を加え、強めに塩、こしょうをする。
6. 鍋に蓋をして10分、時々かき混ぜながら野菜から出る水分で煮る。
7. 食べる場合は、温製、冷製どちらでも良い。

わくわく work ちば

NPOワーカーズコレクティブ千葉県連合会

No. 96
2012. 7

ワーカーズ・コレクティブ(W. Co)とは…

同じ目的を持った仲間が作り出す、地域に有用な事業/出資・労働・経営を全員で担う/働くことを通し、社会的・経済的・精神的自立をめざす



2012年5月23日(水)、第13回通常総会が、来賓、会員など54名が参加し、船橋商工会議所会議室にて開催されました。今回で退任される柴山温行会長の挨拶から始まり、今回のわくわく〜では新しく就任した理事の横顔を紹介します。

第13回千葉県連合会通常総会開催 新体制でスタート!!

柴山会長挨拶



前途を思わせるような晴れた日となりました。W. Co連合会の総会は10年以上の間10月に開催しており、初めて春の開催となります。2011年度は7か月といった短い期間でしたが、W. Co全国会議の千葉県開催をはじめ、新体制の準備、各種プロジェクトなど、多くの事を手掛けてきました。そのような努力もあり、事業所数について、10周年の2003年に21だったものが2006年には12と減少し、やや低迷の兆しがありましたが、現在21と回復してきています。これからも千葉県の中でワーカーズを増やしていくことと既存の事業所を支援していくことが大切です。

理事長 北田恵子 (NPO法人W. Coういず)

今期より、理事会体制が変わった中での私の役割は、業務執行決定機関となる理事会の機能を高めることと考えています。つまり、内に向けては十分に議論を尽くし、心一つにして業務執行に当たれる体制づくり、外に向けては理事会の執行責任者となることです。文字にすると大層ですが、理事会は合議体であり、常勤の専務理事という役職もでき、そこに従来の蓄積があればワーカーズの総合力で何とかなんと楽天的に考えています。

今年は、デポのワーカー化、インフォーマルサービスの地域展開、風の村の厨房施設の起業等が計画されています。どれも生活クラブ千葉グループの協力と連携で進める大きな事業です。秋には、連合会20周年記念式典もあります。去年に引き続き、忙しい年になりますが、皆さんの一つ一つのW. Co運動の積み重ねが、現在の事業展開に繋がってきたことを思うとありがたいことです。先輩方に改めての感謝とこれからも変わらぬご支援ご鞭撻をお願いいたします。

専務理事 渡辺伽奈 (事務局)

W. Co連合会中期3か年計画には、新W. Coの設立を推進し既存事業所の事業強化を行い、千葉W. Coの共助を持って地域に貢献していくことが謳われています。これを受け昨年は新W. Coが5団体立ち上がり、総事業高も約4億2500万円になりました。中期計画の達成が目前となっています。

この計画を推進するために、「法制化推進運動」「生活クラブ千葉グループの一員としての存在」「次世代育成」「第一世代が現役で働ける職場づくり」「男女共同参画社会の実践を進めるためのワークシェアリング」など、多くの課題が山積しています。

今回の組織改編で常勤専務理事を置くという方針が打ち出さ

副理事長 風間由加 ((企)ワーカーズ・結)

ワーカーズとして働くようになって2年半、W. Co千葉県連合会(以下ワーカーズ連合会)の活動に参加して1年しか経過していません。

まだまだ赤子のようなワーカーズの私が副会長の任に就く!!! 皆様、さぞや不安に思っておられるのではないのでしょうか?

ワーカーズ連合会の活動に参加して思うのは、ワーカーズとして活躍している諸先輩方は、市場に左右されない信念と、執念ともいえるこだわりをお持ちのようです。そこまで言うと、ワーカーズが夜叉のように聞こえますが、近いものはあるかな!

昨年まで執行機関は、運営委員会として業種も地域も越えて全てが集まっていたという構造ですが、今年度からは地域や業種がそれぞれで話し合いを行い、代表者が持ち寄ってくる理事会体制です。各分野がより強固な組織へととなり、ワーカーズ連合会の土台となっていくのだと思います。その初年度の中で副理事長の私はというと、右往左往しながら、とりあえず、ワーカーズとしての学習を積み上げていくこととします。 どうぞよろしくお願いいたします。

れた背景には、前述のような課題を進めるために常時連合会の職務に責任を持つ役職が必要と判断されたことによります。しかし、いままでの連合会運営は、①W. Coの本分は自らが労働に従事すること②その事業運営を行うこと③事業資金を出し合うことという3つの原則が一体となり、諸先輩が事業所を運営しながらの連合会運営は、大変厳しいものであったことがうかがえます。専務理事という役割は、その課題を克服し、地域で活躍するW. Coと中期計画に表現されている10年後の在りたい姿を実現するための重責と認識しています。役割の中で得た情報やネットワークを最大限活用し、各W. Coの思いを実現していきたいと思っています。 どうぞよろしくお願いいたします。